

CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

中国負極材料大手、2025 年上半期報告書を発表（上）

中国は負極材の生産・消費ともに世界最大の市場であり、2025 年上半期、生産量は 130.25 万トン、前年比 34.7%増加した。現在、人造黒鉛が主流でシリコン系負極材は次世代材料として発展している。しかし、業界は深刻な過剰生産と激化する競争に直面しており、技術開発と製品の差別化された性能向上が、企業にとって今後の発展の方向性となる。

中国の負極材生産市場は集中度が高い、トップ企業は貝特瑞新能源材料（BTR New Material、以下「貝特瑞」という）、寧波杉杉株式会社（Ningbo Shanshan Co., Ltd. 以下「杉杉」という）、上海璞泰來新能源株式会社（Shanghai Putailai New Energy）等々の大手企業が大きな市場シェアを占めている。

9 月初旬、調査機関 EVTank と伊維経済研究所は共同で「中国リチウムイオン電池負極材産業の発展に関する白書（2025 年）」を発表した。白書では、2025 年上半期の中国リチウムイオン電池負極材出荷量上位 15 社が発表され、その中で、2025 年上半期で 7 万トンを超えた生産量の企業には、杉杉、中科電気、尚太科技、凱金能源、紫 Huan 科技などであり、とくに BTR は 26 万トンの出荷量でトップとなった。

1. 貝特瑞

8 月 28 日、中国負極材料大手企業の貝特瑞新材料集団(BTR)株式会社（以下「貝特瑞」という）は 2025 年上半期報告書を発表した。

当社の 2025 年上半期の営業収入は 78.38 億元（約 1,620 億円、1 元≒20.67 円、以下同）で、前年同期より 11.36%増加した。負極材料の売上高は 62.79 億元（1,298 億円）で、販売量は 26 万トンを超え、前年同期を 32.83%上回った。そのうちの人造黒鉛の販売量は前年同期比 46.23%増と過去最高を記録した。正極材料の売上高は 14.18 億元（293 億円）で、出荷量は前年同期比 4.30%増となった。

貝特瑞は 2000 年 8 月に中国南部の広東省深圳市で設立された。今年 6 月末現在、負極材料の生産能力は 57.5 万トンである。2024 年度の販売量は 43 万トンを超え、世界市場シェアの 22%を占め、15 年連続で負極材料出荷量の世界 1 位の座を維持している。正極材料の生産能力は 7.3 万トンである。

ICC 資訊によると、2025 年上半期、中国のリチウムイオン電池用負極材料の生産量は約 128.1 万トンで、前年同期比 34.56%増加した。ハイニッケル三元系正極材料の生産量は約 14.81 万トンで、前年同期比 10.34%増となった。

2024 年、貝特瑞はインドネシアで負極材料プロジェクトの第 1 期事業（8 万トン）の運転と第 2 期事業（8 万トン）の建設を始めた。また、モロッコで年間 5 万トンの生産能力をもつリチウムイ

CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

オン電池用正極材工場と年産能力 6 万トンの負極材料プロジェクトを開始した。

貝特瑞は研究開発者 960 人余りを擁し、過去 3 年間の研究開発投資額は 30 億元（620 億円）になった。2024 年末現在、中国と国際で取得済みの特許は 692 件あり、そのうちの発明特許は 442 件である。また、国際標準 5 項目、国家標準 17 項目、業界標準 4 項目の策定を主導、参与した。

2. 杉杉

寧波杉杉株式会社（以下「杉杉」という）が発表した 2025 年上半期報告書によると、営業収入は 98.58 億元（2,038 億円）で、前年同期より 11.78%増加した。人造黒鉛負極材料の出荷量は業界 1 位で、負極材料業界の総出荷量の 21%を占めた。

当社は 1992 年 12 月に浙江省寧波市で設立され、1999 年にリチウムイオン電池材料業界に進出した。主にリチウムイオン電池用正極材料、負極材料を取り扱っている。

負極材料製品は人造黒鉛、天然黒鉛、メソカーボンマイクロビーズ（MCMB）、複合黒鉛、シリコン系負極材料を含み、主に中国、韓国、日本向けに販売されている。顧客はリチウムイオン電池大手の ATL（Amperex Technology Limited）、LGC（Lion Green Creation）、CATL（寧徳時代）、BYD、GOTION（国軒高科）、Samsung SDI、BAK Power Battery、LISHEN などがある。

寧波杉杉株式会社は湖南省長沙市、寧夏回族自治区、上海、浙江省寧波市、湖南省郴州市、福建省寧徳市で生産企業を設立している。また、内モンゴル（10 万トン）、四川省（20 万トン）、雲南省（30 万トン）で負極材料一体化生産基地を建設した。そのうち、内モンゴル、四川省第 1 期、雲南省第 1 期プロジェクトは運転を開始した。また、海外市場シェアの拡大に向け、フィンランドで年間 10 万トンの生産能力を持つ負極材料プロジェクトを計画しており、環境アセスメント公示が完了した。将来的には市場ニーズに応じて生産能力を建設する予定である。

情報源：石墨盟